

2017年11月6日
日本電気硝子株式会社

医薬用管ガラスの新材料を開発、供給を開始 ～ 高遮光性タイプをラインアップに ～

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、このたび、従来品より遮光性が高い医薬容器用管ガラス（以下、医薬用管ガラス）（*1）を開発し、供給を開始いたします。

11月15日から開催される「API China2017」（於：中国、アモイ）に出展します。

アンプルやバイアル、プレフィルドシリンジ（薬剤充填済み注射器）などの医薬容器には、耐薬品性や物理的強度の観点から主としてガラスが使用されています。近年、欧米等では、高度医療に対応した医薬品が次々と開発され、また、中国やインドなどの経済成長著しい地域では、医療需要の伸長に伴い医薬品の需要も増加しています。これらを背景に、医薬容器の材料である医薬用管ガラスについても世界的に需要が拡大基調にあり、要求品質や機能も、より高度化・多様化しつつあります。

こうした中、当社はこれまで、紫外線による薬剤の変質を防ぐ機能（遮光性）を有し、かつ薬剤の検査のしやすさ（外からの視認性）に優れた茶褐色で透明な医薬用管ガラスを、主に国内市場向けに供給してきました。一方、海外市場は、欧米では日本規格と比べてより高い遮光性が必須となりつつあり、アジアにおいても欧米規格並みの高遮光性へのニーズが年々強まっています。

当社としては、これら海外市場の動向に対応するべく、従来品よりも濃い茶褐色で透明な高遮光性タイプの医薬用管ガラスを新たに製品ラインアップに加え、海外に向けて積極的な販売を展開し、成長分野である医薬用管ガラス事業の拡大を図っていく所存です。

製品の概要は以下の通りです。

【製品の概要】

1. 製品名 医薬用管ガラス 「BS-A Dark™」
2. 特長
 - ✓ 高い紫外線遮光性（欧州、米国薬局方(*2)に規定される基準に対応）
 - ✓ 業界トップクラスの低アルカリ溶出性能（欧州、米国薬局方の粉末法による溶出試験）
 - ✓ グリーンガラス（フッ素、ヒ素などの環境負荷物質を含有しない）
3. 出荷開始時期 2017年11月よりサンプル出荷開始

(*1) 当社で製造した医薬用管ガラスは、お得意先である加工メーカーでアンプルやバイアルなどの医薬容器に加工されます。

(*2) 薬局方：国・地域ごとに制定された医薬品に関する品質規格書。医薬用ガラス容器に関する規格も収載。

【製品写真】



新開発の医薬用管ガラス(写真下)と現行品



現行の医薬用管ガラスとその使用実例

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702（ダイヤルイン）

《製品に関するお問い合わせ》

コンシューマーガラス事業本部営業部

電話：06-6399-2716（ダイヤルイン）